D-Link DES-3010G/3026

Layer2 10/100Mbps Managed Switch

設置マニュアル

ご注意

本書は、本シリーズの仕様、設置方法など使用するために必要な基本的な取り扱い方法を記載しています。各製品ごとの機能の説明および設定方法については、ユーザマニュアルをご覧ください。

D-Link®
Building Networks for People

安全にお使いいただくために

安全上のご注意　必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
⚠注意	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味　⃠ してはいけない「禁止」内容です。　❗ 必ず実行していただく「指示」の内容です。

⚠警告

分解・改造をしない
分解禁止　機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。

落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
禁止　故障の原因につながります。

発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない
禁止　感電、火災の原因になります。使用を止めて、ケーブル / コード類を抜いて、煙が出なくなってから販売店に修理をご依頼してください。

ぬれた手でさわらない
ぬれ手禁止　感電のおそれがあります。

水をかけたり、ぬらしたりしない
水ぬれ禁止　内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
禁止　火災、感電、または故障のおそれがあります。

内部に金属物や燃えやすいものを入れない
禁止　火災、感電、または故障のおそれがあります。

表示以外の電圧で使用しない
禁止　火災、感電、または故障のおそれがあります。

たこ足配線禁止
禁止　たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。

設置、移動のときは電源プラグを抜く
禁止　火災、感電、または故障のおそれがあります。

雷鳴が聞こえたら、ケーブル / コード類にはさわらない
禁止　感電のおそれがあります。

ケーブル / コード類や端子を破損させない
禁止　無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、ケーブル / コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。

正しい電源ケーブル、コンセントを使用する
禁止　火災、感電、または故障の原因となります。

乳幼児の手の届く場所では使わない
禁止　やけど、ケガ、または感電の原因になります。

次のような場所では保管、使用をしない
禁止
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・動作環境範囲外

光源をのぞかない
禁止　光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

⚠注意

静電気注意
❗　コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。

コードを持って抜かない
❗　コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。

振動が発生する場所では使用しない
❗　接触不良や動作不良の原因となります。

付属品の使用は取扱説明書にしたがう
禁止　付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因になります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に
基づくクラスA情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目 次

安全にお使いいただくために 2

はじめに 4

1□□□□□□□□ に **5**

1.1 本製品の特長 5

1.2 パッケージの内容を確認する 5

1.3 各部の名称と働き 6

1.4 設置と接続 9

設置する場合の注意 9
19 インチラックへの設置 9
SFP モジュールの取り付け (DES-3010G) 10
拡張モジュールのスイッチへの取り付け (DES-/3026) 10

2□□□□□□ **11**

2.1 はじめに 11

2.2 接続の準備 11

2.3 端末ソフトの起動と本製品の設定 12

3□□□□□□□□ 能 **14**

3.1 再起動する 14

3.2 工場出荷時設定に戻す 14

4□□□□□ **15**

5□□□□□□□□ ルサポート **17**

製品に関する保証について 17
製品に関するお問い合わせについて 17
お問い合わせに必要な情報 17

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。
また、必ず本書、ユーザマニュアル、および同梱されている製品保証書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項にしたがってご使用ください。

- 本書および同梱されている製品保証書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書および同梱されている製品保証書は大切に保管してください。
- 弊社製品を日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。また、テクニカルサポートご提供のためにはユーザ登録が必要となります。

http://www.dlink-jp.com/

1　ご使用になる前に

1.1 本製品の特長

DES-3000 シリーズはワークグループや部門サーバに快適なソリューションを提供する高パフォーマンスでコスト効果に優れたレイヤー 2 スイッチです。小規模なネットワーク内での使用だけでなく学校のキャンパス間を結ぶような長い距離の接続についても、オプションの光モジュール (DES-3010G のみ) によって光ネットワークへの接続が可能です。

特長

- 機能、環境にあわせた柔軟なオプションの選択が可能
- 仮想スタック機能対応
- シングル IP マネージメント対応
- IEEE 802.1X ポートベース /MAC ベースアクセス制御対応
- CPU インターフェースフィルタリング
- QoS(IEEE 802.1p)
- 帯域制御 / ブロードキャストストームコントロール
- SNMP v1/v2/v3
- GUI/CLI による設定 / マネージメント
- RoHS 指令対応

オプション

オプション種別	該当製品
2 芯 SFP モジュール	DEM-310GT / DEM-311GT / DEM-312GT2 DEM-314GT / DEM-315GT
WDM 対応 1 芯 SFP モジュール	DEM-330T/330R / DEM-331T/331R
Uplink モジュール	DEM-301T / DEM-301G

参照 オプションの仕様については「4 主な仕様」を参照ください。

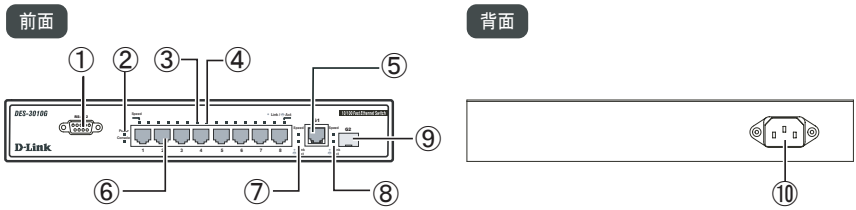
1.2 パッケージの内容を確認する

DES-3000 シリーズそれぞれには以下のものが同梱されています。
同梱物がすべてそろっているかをはじめにご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

□ 本体 □ 電源ケーブル □ ラックマウントキット □ ゴム足 □ 製品保証書
□ RS-232C コンソールケーブル □ CD-ROM x 2

1.3 各部の名称と働き

DES-3010G



① コンソールポート　　RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。

⑤ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート (G1)

10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T の場合はエンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。

⑥ 10BASE-T/100BASE-TX ポート (ポート 1 ～ 8)

10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。

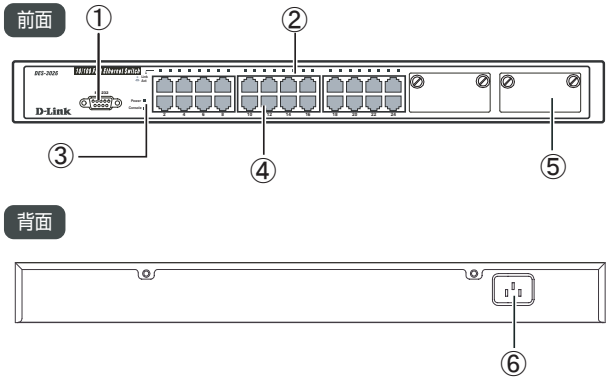
⑨ SFP スロット (G2)　　オプションの SFP モジュールを取り付けます。

⑩ 電源コネクタ　　電源ケーブルを接続します。

ステータス LED

LED	色	状態	内容
② Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
② Console	緑	点滅	電源投入後の Power ON Self Test(POST) 中点滅し、終了すると消灯します。
	緑	点灯	コンソールポートのリンクが確立しています。
③ Speed	緑	点灯	100Mbps でリンクが確立しています。
	―	消灯	10Mbps でリンクが確立しているか、またはリンクが確立していません。
④ Link/Act	緑	点灯	リンクが確立しています。
		点滅	データを送受信しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。
⑦ GE ポート LED(G1) Speed	緑	点灯	1000Mbps でリンクが確立しています。
	―	消灯	10Mbps/100Mbps でリンクが確立しているか、またはリンクが確立していません。
⑦ GE ポート LED(G1) Link/Act	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。
⑧ SFP スロット LED (G2) Speed	緑	点灯	1000Mbps でリンクが確立しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。
⑧ SFP スロット LED (G2) Link/Act	緑	点灯	1000Mbps でリンクが確立しています。
	緑	点滅	1000Mbps でデータを送受信しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。

DES-3026



① コンソールポート　　RS-232C(D-Sub9 ピン) ケーブルを接続します。

④ 10BASE-T/100BASE-TX ポート (ポート 1 ～ 24)
10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。

⑤ 拡張スロット　　オプションの拡張モジュールを取り付けます。

⑥ 電源コネクタ　　電源ケーブルを接続します。

ステータス LED

LED	色	状態	内容
② Link/Act	緑	点灯	100Mbps でリンクが確立しています。
		点滅	100Mbps でデータを送受信しています。
	橙	点灯	10Mbps でリンクが確立しています。
		点滅	10Mbps でデータを送受信しています。
	―	消灯	リンクが確立していません。
③ Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
③ Console	緑	点滅	電源投入後の Power ON Self Test(POST) 中点滅し、終了すると消灯します。
	緑	点灯	コンソールポートのリンクが確立しています。

1.4 設置と接続

設置する場合の注意

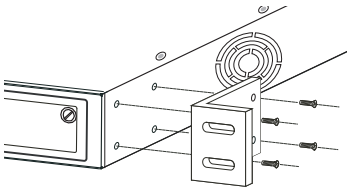
はじめに「安全にお使いいただくために」2 ページをお読みください。また、設置する際には以下の点に注意してください。

- 直射日光のあたる場所、高温多湿となる場所、または電磁波の影響の大きい場所を避けて設置してください。
- 不安定な場所や傾いた場所に設置しないでください。
- 本製品の通気口をふさがないでください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 光源をのぞかないでください。

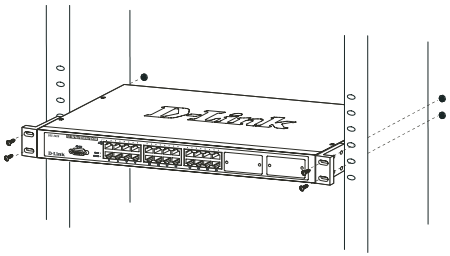
19 インチラックへの設置

1. 電源ケーブルおよびケーブル類がシャーシ、拡張モジュールに接続していないことを確認します。

2. 付属のネジで、スイッチ両側側面にブラケットを取り付けます。



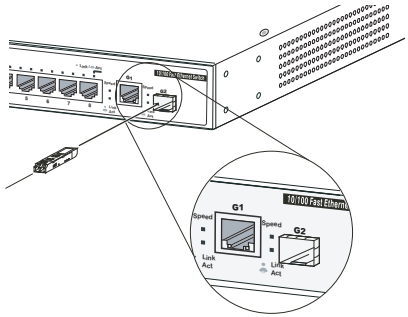
3. 19 インチラックに付属のネジを使用し、シャーシをラックに固定します。



注意 スイッチをラックに固定するネジは付属品に含まれません。別途ご用意ください。

SFP モジュールの取り付け (DES-3010G)

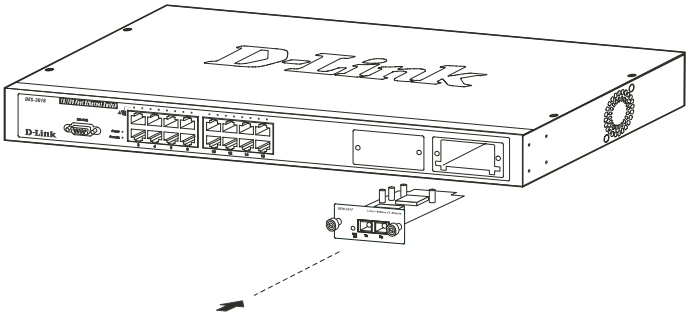
1. スイッチの Mini-GBIC ポートに SFP モジュールを差し込みます。



2. SFP モジュールのキャップをはずします。

拡張モジュールのスイッチへの取り付け (DES-3026)

1. スイッチの背面の空きスロットのカバーを取り外します。
2. モジュールを装着する場所のスロットカバーを取り外します。
3. モジュールをガイドにそってスライドさせ、シャーシの結合部分に差し込みます。



4. モジュールのネジを時計回りに回して固定します。

2　基本の設定

2.1 はじめに

ご購入後はじめて本製品を設定する手順について説明します。
本製品は初期状態で IP アドレス「10.90.90.90」、サブネットマスク「255.0.0.0」が設定されています。ユーザ名、パスワードは設定されていません。
端末より本製品に接続するためには、端末側の IP インターフェースを本製品にあわせるか、本製品を端末側の IP インターフェースにあわせる必要があります。
ここでは本製品の IP インターフェースを変更する方法について説明します。
IP インターフェースの設定はコンソールから行い、スイッチに保存します。保存後、GUI または CLI よりユーザ名、パスワードの設定などのスイッチの詳細設定を行ってください。

2.2 接続の準備

1. 本製品へのコンソール接続のために、コンソール接続するコンピュータの端末ソフトウェアに以下の設定をしてください。

設定項目	内容
通信速度	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし
ファンクションキー	ターミナルキー
エミュレーション	VT-100
エンコード方法	Shift-JIS

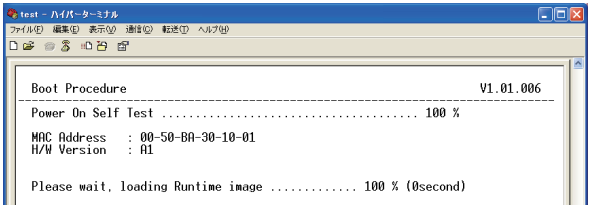
以下は Windows XP のハイパーターミナルソフトの設定例です。

2. 本製品のコンソールポートとコンソールを同梱のコンソールケーブル (RS-232C D-Sub 9 ピンケーブル）で接続します。

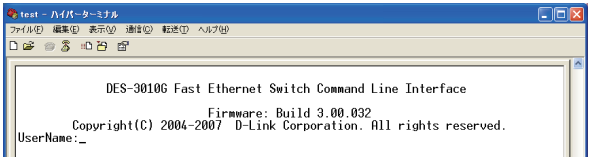
2.3 端末ソフトの起動と本製品の設定

次の手順で本製品の基本設定を行います。ここでは DES-3010G の画面で説明します。

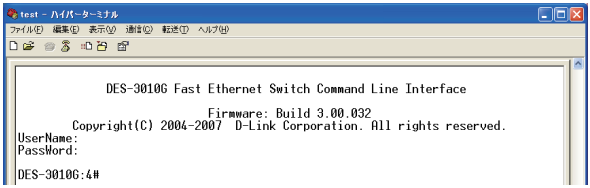
1. コンピュータで端末ソフトを起動する
   以下のリブート画面が表示されます。


test - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
Boot Procedure V1.01.006
Power On Self Test ..... 100 %
MAC Address : 00-50-BA-30-10-01
H/W Version : A1
Please wait, loading Runtime image ..... 100 % (0second)

2. ログインする
   「UserName」(ユーザ名) の入力プロンプトが表示されます。
   何も入力せず [Enter] キーを押します。


test - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
DES-3010G Fast Ethernet Switch Command Line Interface
Firmware: Build 3.00.032
Copyright(C) 2004-2007 D-Link Corporation. All rights reserved.
UserName:_

   続いて PassWord(パスワード) 入力プロンプトが表示されます。
   何も入力せず [Enter] キーを押します。



3. IP インターフェースを変更する
   次のコマンドで本製品の IP インターフェースを変更します。ここに IP アドレスとサブネットマスクを割り当てます。

コマンド構文	config ipif [System] [ipaddress<network_address>]
パラメータ説明	
network_address	IP インターフェースに割り当てる IP アドレスおよびサブネットマスクを入力します。 10.1.2.3/255.0.0.0 または 10.1.2.3/8 の形式で指定します。

   例：
   IP アドレスに「192.168.1.100」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を指定します。
   Command: config ipif System ipaddress 192.168.1.100/255.255.255.0 [Enter]

   IP インターフェースの変更が成功すると画面に「Success」と表示されます。

設定内容を確認する場合は以下のコマンドを入力します。

コマンド構文	show ipif
パラメータ	なし

例：

Command: show ipif [Enter]

4. 設定を本製品に保存する
   作成した管理者アカウントおよび IP インターフェースを本製品の現在の config ファイルに保存します。以下のコマンドを入力します。
   Command: save [Enter]

5. ログアウトする
   設定終了後、本製品からログアウトし、端末ソフトを終了します。
   以下のコマンドを入力します。
   Command: logout [Enter]

本製品の IP インターフェース設定が終了しました。
詳細設定については、ユーザマニュアルを参照し、Web ブラウザ、またはコンソール /Telnet 接続で行ってください。

3　その他の基本機能

本製品のその他の基本機能について説明します。

3.1 再起動する

本製品を再起動します。

Command: reboot [Enter]

注意 本コマンドを実行する前に必要に応じて save コマンドにより設定内容を保存してください。

3.2 工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

コマンド構文	reset {[config ｜ system]}
パラメータ説明	
config	すべての設定が工場出荷時の初期設定に戻りますが、NV-RAM には書き込みません。
system	全ての設定やエントリが工場出荷時の初期設定に戻し、その初期設定を NV-RAM に保存して再起動します。
なし	IP インターフェース、ユーザアカウント、ログヒストリ、およびバナーを除くすべての設定が工場出荷時の初期設定に戻りますが、NV-RAM には書き込みません。

例：

Command: reset system [Enter]

5　保証とテクニカルサポート

製品に関する保証について

本製品には「製品保証書」が添付されています。所定事項の記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。本製品の保証は、この「製品保証書」に記載されている「保証規定」に基づいて行われます。

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、事前にユーザ登録を行い弊社サポート窓口へお問い合わせください。

1. ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
2. 弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
3. ダウンロードサービスをご利用ください。
   * ダウンロードサービスをご利用になるためには必ずユーザ登録が必要です。
   * 最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
     http://www.dlink-jp.com/

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてお知らせください。

- 製品名
- お買い上げ年月日
- シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン
  （ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ご使用環境（OS、周辺機器など）
- エラーメッセージ表示されている場合は、その内容をお知らせください。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。
また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。
Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。
弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。
弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。
弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2006 ディーリンクジャパン株式会社